

骨は、加齢や様々な原因で、脆くなっていきます。

特に、高齢になってからの骨折は、寝たきりにいたってしまうことがあります。

早い時期から、骨折をしてしまう危険因子を調べて、予防・治療を行うことが大切です。

地域の皆さまの、骨粗鬆症や低骨量をきたす疾患に対する、予防・治療を行ってまいります。

知っておきたい日本の**骨折事情**

監修：折茂 肇（骨粗鬆症財団理事長）

骨に関する数字について、もう少し詳しい情報です。

知れば知るほど、骨粗鬆症があなたにとって身近で、たいへんな病気であることがお分かりいただけると思います。あなたも、骨粗鬆症による骨折の予防対策を始めてみませんか。

3分に1件 足の付け根骨折の頻度¹⁾。

足の付け根（大腿骨近位部）の骨折は、日本で年間175,700件^{*1}も発生しています。これは3分に1件の頻度ということになります。

^{*1} 男性37,600件、女性138,100件と女性に圧倒的に多いこともポイントです。

方法：日本における2012年の年間大腿骨近位部骨折発生患者数を男女別に推計した。



36パーセント 足の付け根骨折の後元通りに歩けない人²⁾。

足の付け根（大腿骨近位部）の骨折を起こした場合、退院の段階でも3人に1人は元通り屋外歩行ができるどころまで回復していません。

方法：大腿骨近位部骨折を起こした115例（受傷時年齢57～100歳（平均82.5歳））の中で、受傷前に障害がなかった19例について退院時の屋外歩行能力を検討した。

受傷前の日常生活自立度と退院時している退院先と退院時している動作の相関（病院への再転院例は除く）

退院先	退院時している動作							計
	屋外歩行	階段昇降	本様歩行	歩基内歩行	車椅子内歩行	車椅子移動	ギョウシベア	
障害なし	12	3	4	0	0	0	0	19
自力で外出	16	10	9	10	2	3	0	50
介助で外出	0	4	2	6	3	2	0	18
車椅子	0	0	0	3	2	3	1	10
計	28	17	15	19	7	8	1	97

退院先	退院時している動作							計
	自宅	階段昇降	本様歩行	歩基内歩行	車椅子内歩行	車椅子移動	ギョウシベア	
自宅	27	13	11	12	4	1	0	68
自宅→施設	2	1	3	2	3	1	1	13
施設→施設	1	2	1	2	0	4	0	11
計	28	17	13	17	6	8	1	92

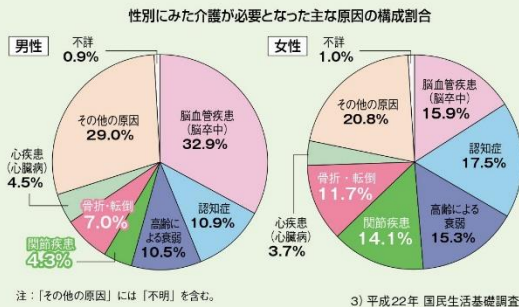
2) 久保祐介他・整形外科と災害外科.61:21,2012

4人に1人 運動器の障害で介護が必要となった女性³⁾。

介護が必要となった女性の4人に1人が、骨折を含む運動器の障害^{*2}が原因でした。

^{*2} 骨折・転倒および関節疾患を含んでいます。

方法：無作為に抽出された世帯のうち、介護について調査された女性67,153人を対象に、介護が必要となった主な原因を調査した。



1,540万円 骨折が原因で介護となった場合の5年間の費用⁴⁾。

骨折で介護が必要となった場合の5年間の自己負担額の試算です。

方法：要介護3の状態となり、1日の介護費用約8,440円を用いて5年間暮らしと仮定し、介護費用を試算した。

4) 林泰史, 日老医誌 44:591,2007

